アジア防災会議 2025

共に強靭な社会を築く：巨大災害に備えた持続可能な未来へ

2025年12月17日
12月18日

１日目 12月17日（水）
10:00 - 17:30

２日目 12月18日（木）
10:00 - 14:40

会場：三田共用会議所
〒*108-0073*　東京都港区三田２丁目１－８

アジア防災会議2025（ACDR2025）は、2025年12月17日から18日にかけて、ハイブリッド形式（日本・東京での対面開催とオンライン開催）で、内閣府の主催により開催されます。

ACDRは、日本または他のADRC加盟国で毎年開催される会議であり、加盟国および防災（DRR）機関の関係者が、アジア太平洋地域における防災推進の機会や現在の課題について議論します。

開催形式	対面およびオンライン
言語	英語 *オープニングセッションとパネルディスカッションでは同時通訳利用可能です。
参加費	無料
主催	内閣府

参加登録

参加登録は、QRコードをスキャンするか、
以下のリンクからアクセスしてください。

対面参加申込み
申込締切：2025年12月5日（金）
※定員になり次第締め切ります。

https://acdr.adrc.asia/home/acdr2025

オンライン参加申込み
申込締切：当日もご参加可能です。

https://bit.ly/acdr2025jpn

ACDR2025

ACDR2025 特設ウェブサイト
https://acdr.adrc.asia/home/acdr2025

E-mail (アジア防災会議事務局)
acdr2025jpn@adrc.asia

アジア防災会議 2025

共に強靭な社会を築く：巨大災害に備えた持続可能な未来へ

背景と目的

2025年は阪神・淡路大震災から30周年を迎え、日本の防災政策における大きな転換点となりました。同年、ミャンマーでも壊滅的な地震が発生し、この地域における災害の継続的かつ新たな脅威が浮き彫りとなりました。一方、気候変動は台風、洪水、熱波、干ばつといった異常気象の頻度と強度を加速させ、既存の防災・対応システムの限界を押し上げています。

アジアは特に脆弱な地域であり、急速な経済成長、高い人口密度、地震や洪水から土砂災害、猛烈な暴風雨に至る複雑なリスクが存在します。防災（DRR）はもはや緊急対応だけの問題ではなく、持続可能な開発、社会的公平性、インフラのレジリエンス、地域協力と深く結びついています。

ACDR2025は、過去数十年の教訓を再検証し、より安全で包摂的かつ強靭な未来に向けた共通ビジョンの構築を目指しています。本会議には、政府、地方自治体、国際機関、民間セクター、学術界、市民社会の幅広い関係者が参加します。科学・政策・実践を結び付け、災害リスク削減と持続可能な開発を後押しする革新的技術、包摂的な社会システム、セクター横断的ガバナンスを議論・検討する場となります。

ACDR 2025

1日目

12月17日（水）10:00 - 17:30

- **開会式** 日本語－英語
- **パネルディスカッション** 日本語－英語
  巨大災害への備えと持続的成長
- **ラウンドテーブル ・セッション 1**
  各国の防災・減災の取り組み報告
- **セッション 1**
  災害レジリエンスのための技術革新

2日目

12月18日（木）10:00 - 14:40

- **ラウンドテーブル・セッション 2**
  各国の防災・減災の取り組み報告
- **セッション 2**
  包摂的な防災リスク削減の基盤
- **閉会式**

議題の詳細と登壇者情報については、ウェブサイトをご覧ください。

https://acdr.adrc.asia/home/acdr2025